

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	酪農学園大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	北海道
大学全体の総収容定員	3,040名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	農食環境学群（循環農学類、食と健康学類、環境共生学類）、獣医学群（獣医学類、獣医保健看護学類）			
事業計画名	酪農学園大学農食環境学群及び獣医学群再編計画			

2. 事業概要

日本の急速な人口減少において、農学・獣医学の人材不足、特に地方においては、地域を支える産業を担う人材が不足しており、農学・獣医学においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）による産業全体の構造改革による成長分野と期待されているが、現状では人材不足が深刻化している。本学では、これらの課題解決のために、農業分野におけるDX、ITを使った課題解決に特化した新学類（食農環境情報学類100名）の開設、獣医保健看護学類（農学関係）の定員増（入学定員40名増）を行い、量的・質的な人材不足を補うものとする。特に新設の学類においては、「地域をイノベーションする人材の育成」をコンセプトとし、データ収集や解析、GISやドローン操作技術等の専門的スキルを習得し、本学の学内・学外実習やフィールドワークを通じて、現場に応用できる実学として学ぶことができる。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	農食環境学群 食農環境情報学類（仮称）					
設置等組織の学位分野	農学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	北海道江別市文京台緑町					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	100名					
他学部等の入学定員の減少数	100名					

改組予定年度	令和8年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学科の収容定員の増加					
設置等組織名	獣医学群 獣医保健看護学類					
設置等組織の学位分野	農学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	北海道江別市文京台緑町					
入学定員	60名					
収容定員	240名					
入学定員の増加数	40名					
他学部等の入学定員の減少数	40名					



事業計画名 酪農学園大学農食環境学群及び獣医学群再編計画

基本情報

改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	農食環境学群食農環境情報学類、獣医学群獣医保健看護学類	入学定員増数(合計数)	140
所在地	北海道工別市	改組内容	既存学部における学科の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)、既存学科の収容定員の増加	入学定員減数(合計数)	140

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴>

農畜産業を革新し「地域をイノベーションする人材」の育成のための学類の再編を行う

- 食農環境情報学類 (既存学部における学科の新設)

DX, IT技術を駆使し、実学を教育の根幹に据える本学の特色(多様な農場を学内に配置)を生かし、地域の農畜産業に革新をもたらす人材を育成する。本学では既に、農・食・環境の各分野において、地域振興をコーディネートできる人材の育成、およびドローンやGIS(地理情報サービス)を農業、環境領域において実践してきた。本学類の設置により、現場への人材共有を加速させ、さらに地域自治体や、企業との連携したカリキュラムを多く配置することにより、地域をイノベーションする人材を輩出する。

- 獣医保健看護学類 (既存学類の定員増)

本学類では、地域農畜産業を支え、獣医療をサポートする動物看護師を日本で唯一輩出してきた。更なる充実と、リカレント教育により女性の農畜産業への進出を誘導する。動物飼養管理を実習するための施設の整備、担任制度による教育体制の充実、クリニカルローテーションによる少人数実習の導入、獣医学類教員との連携による生産動物や馬教育のための実習環境のさらなる充実を計画している。実習に利用する生産動物の施設や厩舎では、アニマルウェルフェアに配慮した対応をする。これらの改革により、動物看護師として活躍できる現場を広げ、地域社会の問題解決を行うことができる人材を輩出していく。

<他大学との連携>

- 単位互換制度を利用した他大学生への受講機会の提供
- 海外大学への留学プログラムの実施(22カ国43機関(大学:34校(19カ国1地域) 研究施設等:9機関(9カ国))

<社会や地域のニーズ・課題>

- 世界的な人口増
 - 日本の急速な人口減
 - 温暖化
- 特に地域農畜産業への影響が大
- 飼料の高騰
 - 働き手の減少、高齢化
 - 農業経営体数の減少

人材育成が急務

- 持続可能な食料生産
- 環境・動物福祉に配慮
- DX・IT技術の活用
- 地域振興

農畜産業を革新し「地域をイノベーションする人材」の育成

北海道地域産業の活性化・日本の食を支える

農食環境学群

食農環境情報学類 (仮称) (新設入学定員100名)

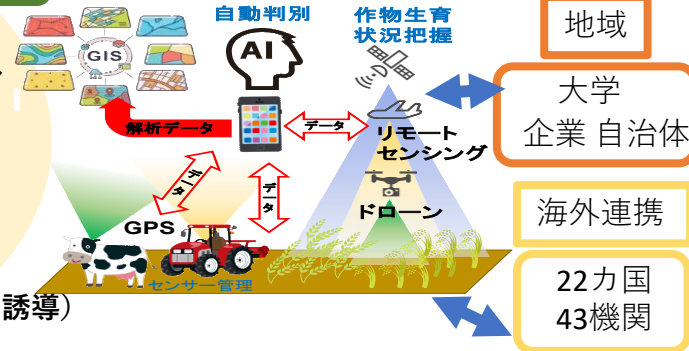
- 地域振興をコーディネートできる人材の育成
- DX, IT技術、ドローン、GIS、データサイエンス
- 現場とデータサイエンス・技術・社会を理解

獣医学群

獣医保健看護学類 (既設入学定員40名増)

- 地域農畜産業を支える動物看護師を輩出
- リカレント教育 (女性有資格者の農畜産業への誘導)
- アニマルウェルフェア (動物福祉) に配慮

相互に連携
課題解決型 PBL
教育、実習



<多様な入学者の確保>

- 高校生を対象としたサイエンスファームの実績を小中学校へも拡大
- リカレント教育による女性動物看護師の農畜産業への誘導
- 社会人や留学生を含む多様な人材獲得に繋がる入学者選抜の実施

<教育内容・育成する人材像>

- DX, IT技術を駆使する農業の担い手の育成
- 未来の農畜産業を切り拓ける人材
- 地域コミュニティを創造できる人材
- 地域農畜産業を支える動物看護師の育成(女性技術者の農畜産業への進出)